

岐阜市・北長森地区のコミバス 乗客10万人を突破

記念式典



くす玉を割り10万人達成を祝う関係者
岐阜市北一色、バロー北一色店

岐阜市の北長森地区のコミュニティバス「長森ふれあいバス」の乗客が10万人を突破し、同市北一色の

バロー北一色店で記念式典が開かれた。

バスは2015年9月から、地域住民でつくる「北

長森地区コミュニティバス等運営協議会」が主体となり運行している。コロナ禍には利用者の減少などもあったが徐々に回復。さらに24年4月にJR長森駅にロータリーが整備され、バスが乗り入れられるようになったことからルートが変更され、通勤通学の利用者が大幅に増えたという。

式典では、同協議会の平工佐富会長が「バスを地域の足として利用してもらい喜んでいける。引き続き安全に運行していきたい」とあいさつ。柴橋正直市長も出席し、「公共交通を地域の重要な生活手段として活用してもらいたい」と述べた。

関係者がくす玉を割って祝った。(小田香緒里)